

地域運営学校

令和8年度

学校だより

鑑水

令和8年6月4日

6月号

八王子市立鑑水中学校

第24回体育大会

校長 山川 毅

令和8年5月30日（土）、本校第24回体育大会が実施されました。初夏の爽やかな陽気の中、最高のコンディションで行われました。

開会式において、私は生徒たちに2つの話をしました。1つは今年の体育大会のスローガン『一意専心～最後の1秒まで大切に～』の通り、自分の力を出し切って、人生一度きりの中学校での体育大会、決して悔いを残さないようにして欲しいということ、そしてもう1つは、昨年度も同じことを話しましたが、「勝ち負けにこだわる」ことを要求しました。勝ち負けにこだわることは、それ自体が目的ではなく、各クラス・学年が団結するための手段となり、一人ひとりが全力を出すための手段となるからです。

大太鼓の合図で選手入場、今年度の体育大会が幕を開けました。力強く入場する勇ましい姿に、今回の体育大会はきっと素晴らしい行事になる予感がしました。競技が始まると、個人種目は、運動が得意な生徒も決して得意ではない生徒も、自分もっている力を精一杯発揮し、大変清々しかったです。学年種目等の団体種目では、仲間を励ます応援、相手を称える応援、上級生から下級生への応援、下級生から上級生への応援となる拍手が自然と沸き起こり、大変温かい雰囲気が醸し出されました。また、実行委員をはじめ各係の生徒は、自分の仕事に責任もって取り組んでいました。最初はやや固さが感じられた緊張感が徐々にほぐれ、各競技が進行するにつれて、自分たちの体育大会を楽しむ雰囲気が感じられ、同時に各クラス・学年の団結力も高まってきました。

そして、もう1つ私が嬉しく感心したことは、前日までの準備と当日の片付けです。本校の生徒は、少しも労をいとわずに楽しみながら取り組みます。きびきびと気持ちよく動きます。手を抜いたり、誰かがやるからいいやというような他人任せの生徒が一人もいません。また、片付けに関しては、参観にきた卒業生が率先して手伝ってくれました。得点にならない部分を頑張れる人間性、表に出る部分だけを頑張るのではなく裏の部分もしっかり取り組める姿勢、誰かに評価されることを少しも期待しないで人の為に動ける心、これらは人として大切なものであり、将来社会に出た時、必ずや世の中を支えるとても大きな力となるのではないのでしょうか。このような本校の生徒（卒業生を含めて）を私は大変誇りに思います。

私にとっての鑑水中学校の体育大会は2度目でしたが、昨年度に引き続き、とても爽やかな1日となりました。今年度最初の大きな学校行事は、大変大きな成果が挙げられたと手応えを感じております。昨年に引き続き3年生がしっかり全校をリードしてくれた体育大会、来年度も1、2年生がしっかり引き継いでくれる予感がして、早くも楽しみです。

最後になりましたが、多くの保護者・地域の方々が足を運んで温かい声援をくださり、生徒たちも我々教職員も大変励みになりました。ご参観くださった保護者のみなさま、生徒たちへの飲料水の配布、受付、警備等、陰ながら支えてくださったPTA役員の方々のみなさま、どうもありがとうございました。

鎌水中学校グループ育てたい児童・生徒像
「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」



体育大会

保健体育科を中心とした学習の成果を披露、主体的に活動する力・粘り強く取り組む態度の育成



5月30日(土)体育大会を実施しました。今年の体育大会のスローガンは「一意専心～最後の1秒まで大切に～」です。あえて勝負にこだわる姿、仲間を応援する姿、係の仕事に取り組む姿、たくさんの鎌中生の全力が見られた体育大会でした。

多くの保護者の方や地域の皆様に御来校いただくとともに、温かいご声援をいただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

鎌水中学校は「想像力」と「思いやり」



鑓水中学校グループ育てたい児童・生徒像 「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」

学年	1	2	3	4	5	6
自己理解	自己理解の基礎を築く	自己理解の基礎を築く	自己理解の基礎を築く	自己理解の基礎を築く	自己理解の基礎を築く	自己理解の基礎を築く
対人関係	対人関係の基礎を築く	対人関係の基礎を築く	対人関係の基礎を築く	対人関係の基礎を築く	対人関係の基礎を築く	対人関係の基礎を築く
社会生活	社会生活の基礎を築く	社会生活の基礎を築く	社会生活の基礎を築く	社会生活の基礎を築く	社会生活の基礎を築く	社会生活の基礎を築く
学習能力	学習能力の基礎を築く	学習能力の基礎を築く	学習能力の基礎を築く	学習能力の基礎を築く	学習能力の基礎を築く	学習能力の基礎を築く
問題解決	問題解決の基礎を築く	問題解決の基礎を築く	問題解決の基礎を築く	問題解決の基礎を築く	問題解決の基礎を築く	問題解決の基礎を築く
創造性	創造性の基礎を築く	創造性の基礎を築く	創造性の基礎を築く	創造性の基礎を築く	創造性の基礎を築く	創造性の基礎を築く
健康	健康の基礎を築く	健康の基礎を築く	健康の基礎を築く	健康の基礎を築く	健康の基礎を築く	健康の基礎を築く
環境	環境の基礎を築く	環境の基礎を築く	環境の基礎を築く	環境の基礎を築く	環境の基礎を築く	環境の基礎を築く

未来フォワードタイム

キャリア育成・自己理解の向上



体育大会の未来フォワードタイム（「鑓水中学校の非認知能力の表」を基に体育大会の自身の目標を決める時間・行事後に振り返る時間）を行いました。

体育大会前の未来フォワードタイムでは、ある生徒は「敬意・尊重」を選び、目標を「運動が苦手な人に対して自分の気持ちで声をかけるのではなく、相手の気持ちを考えて、声かけをする。」と書いていました。その後、担任が対話を通して、目標を深めたり、達成のための助言をしたりしました。

体育大会後の未来フォワードタイムでは生徒自身がそれぞれの目標に対して振り返りました。生徒の体育大会の振り返りを紹介します。

【体育大会の振り返り 生徒のキャリアパスポートより】

- ・「俯瞰力」を意識した。何かを解決する際に、まずは自分が何か改善できないかを考えるようにしたい。
- ・大ムカデの練習の時、ただひたすら練習するのではなく、女子全体で困っていること、どうしたらうまくいくかについて話し合うことができたので「相互理解」が深まったと思う。
- ・学年・クラス関係なく応援することが大切だということに気が付いた。そうすることで学校として1つになることができ、スローガンの「終わった後に、楽しかったと思える体育大会」により近づいたと思う。
- ・クラスの「相互理解」については課題が残った。リレー等学年種目では声を出して協力していましたが、競技以外で「女子がダメだった」という声が聞こえた後から、助け合いや意思疎通をとることが少なくなったから。今回の反省点は日常の生活で取り返したいと思いました。
- ・「相互理解」の力が上がった。全員リレーの走順を決めるときの話し合いで、お互いのことを考えて譲り合えたから。これからも話し合いを大事にして、皆と協力したい。
- ・結果では負けてしまったけど、苦手な競技があっても、クラスのために投げ出すことなく全力を尽くすことができた。クラスのみならずも全力を出していたと思う。クラスとして「忍耐力」が身に付いてと思う。
- ・「受容・共感」を意識した。リレーや学年種目は全員で協力して取り組むもので、友達が「困ってそうだな」と思ったら、すぐに「大丈夫？」と声をかけたりして、互いに寄り添うことができた。1人で頑張ることも大切だけど、コミュニケーションは絶対に必要だと思う。関わるのが怖くても、学校生活でたくさんコミュニケーションをとっていききたい。

「校内別室の開室」のお知らせ

登校支援・特別支援教育の充実



↑先日は鑓中で採れた梅で梅ジュースを作りました。

校内別室（コミュニティールーム）を、生徒の教育的ニーズを踏まえて別室を使用することが必要であると判断する生徒対象に開室しました。開室している日程は原則、火曜日から木曜日の3日間です。別室登校支援員が活動の様子を見守ります。校内別室利用に関心がある方は担任または特別支援教育コーディネーター（松本・水上）まで御連絡ください。

（電話：042 - 675 - 7331）

鑓水中学校は「対話 de 指導」